

令和5年度 年間指導計画

⑦芸術2

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

| | | | | | |
|-----|---------------|----|------|-------|---------|
| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術 I | 学年・学科 | 1 学年・全科 |
| 教科書 | 高校生の美術 I (日文) | | 副教材 | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | 美術に幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指します。 |
| 学習方法 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵画の基本、デッサン等を通して用具の使い方、構図の捉え方等の基礎を学びます。 ○ 基礎的な学習を学んだ上に、更に高度な技法を通して、多様な表現方法を学びます。 ○ 国内外の多くの作品を鑑賞し、感性を高める授業を展開し、文化と美術史について学びます。 |

| | 評価の観点 | 評価の観点の趣旨 | 学期 | 重み付け | 割合 | |
|------|---------------------|--|------|------|----|------|
| | | | | | 調査 | 調査以外 |
| 学習評価 | a 知識・技能 | ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 | 前期中間 | 30 % | 0 | 30 |
| | | | 前期末 | 30 % | 20 | 10 |
| | | | 後期中間 | 30 % | 0 | 30 |
| | | | 後期末 | 30 % | 20 | 10 |
| | b 思考・判断・表現 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 前期中間 | 35 % | 0 | 35 |
| | | | 前期末 | 35 % | 20 | 15 |
| | | | 後期中間 | 35 % | 0 | 35 |
| | | | 後期末 | 35 % | 20 | 15 |
| | c 主体的に学習に取り組む態度(意欲) | 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 | 前期中間 | 35 % | 0 | 35 |
| | | | 前期末 | 35 % | 10 | 25 |
| | | | 後期中間 | 35 % | 0 | 35 |
| | | | 後期末 | 35 % | 10 | 25 |

| 学期 | 単元名 (題材) | 学習内容 (小単元) | 評価の観点 | | | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|------|-----------------------|--|-------|---|---|--|--|---|--|
| | | | a | b | c | | | | |
| 前期中間 | ○ 絵画・彫刻 (卵を作る) | 鉛筆で卵の立体感を表現します。 | ○ | ○ | ○ | a: 鉛筆デッサンの基本、立体表現の基本技能を身に付け、鉛筆、スタイロフォームの素材の特性を生かして表現しようとしている。 b: 完成を想像しながら、立体を表現しようとし、他の生徒の作品のよさや美しさを味わい理解を深めようとしている。 c: 鉛筆やスタイロフォームのよさを生かして表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。 | ・アイディアスケッチ ・完成作品 ・ワークシート ・個人評価表 | | |
| | | スタイロフォームを使って卵を作ります。 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | 他の作品を鑑賞します。 | | | ○ | | | | |
| | ○ デザイン (名画による平面構成) | 色の三原色・光の三原色、補色について理解します。 | ○ | ○ | ○ | | | a: 色と光の関係、平面構成の原理と言ったデザインの基本技能を身に付け、アクリル絵の具の特性を生かして表現しようとしている。 b: デザインの原理と効果を考え、構想を練ったり、他の生徒の作品のよさや美しさを味わい理解を深めようとしている。 c: デザイン表現のよさを生かして表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。 | ・アイディアスケッチ ・完成作品 ・ワークシート ・個人評価表 |
| | | DIC色カードを使って、名画の近似色を探し、アクリル絵の具を使用し、カードの色通りの調色します。 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | 調色した色を名画の配分通りに塗り分け、狙い通りの構成をします。 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | 他の作品を鑑賞します。 | | | ○ | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------------|--|--|---|---|---|--|---|
| 前期末 | ○デッサン (ク루미、落花生、貝:自然形態) ○彫刻 (モチーフ:ク루미、落花生、貝) | デッサンについて理解します。 | ○ | ○ | ○ | a:立体表現の基本技能を身に付け、素材の特性を生かして表現しようとしている。 b:完成を想像しながら、立体を表現しようとし、他の生徒の作品のよさや美しさを味わい理解を深めようとしている。 c:立体表現のよさを生かして表す創造活動に主体的に取り組もうとしている。 | ・アイディアスケッチ ・完成作品 ・ワークシート ・個人評価表 ・定期考査 |
| | | 講評会を行います。 | ○ | ○ | ○ | | |
| 彫刻の基礎について学びます。 | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 用具や素材(石塑粘土)の特性を捉えて制作します。 | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 自分やほかの生徒作品の良さを感じ取ります。 | | | ○ | | | | |
| | ○鑑賞 (ジャポニズム) | DVD鑑賞により、浮世絵がヨーロッパ美術に強い影響力を与えたことを理解し、改めて日本美術のすばらしさを理解する。 | ○ | ○ | ○ | a:日欧の美術文化、様式などを捉えようとしている。 b:それぞれの文化のよさや美しさについて理解を深めようとしている。 c:作品のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。 | ・レポート ・鑑賞態度 |
| 後期中間 | ○デザイン (本のPOP制作) | POP広告としての責任性・機能性について学びます。 | ○ | ○ | ○ | a:新たな画材、技法等を身につけ、素材の特性を生かして効果的に表現しようとしている。 b:主体的に制作プロセスを理解し、他の生徒の作品に関心を抱き、制作の参考にしている。 c:デザインに興味関心を持ち、創造活動において、主体的に取り組もうとしている。 | ・アイディアスケッチ ・完成作品 ・ワークシート ・個人評価表 |
| | | 発想力を大切に、個人指導の徹底を図ります。 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 画材や用具の特性をよく理解して、より効果的な制作・表現をします。 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 自分や他の生徒の作品の良さを感じ取ります。 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 図書館に実際に展示し、講評会を行います。 | | ○ | | | |
| 後期末 | ○映像メディア表現 (写真で表す) | 写真の原理を理解します。 | ○ | ○ | ○ | a:カメラの機能や効果、全体のイメージを捉え、カメラの特性を生かして表そうとしている。 b:構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしようとしている。 c:写真表現の特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 | ・アイディアスケッチ ・完成作品 ・ワークシート ・個人評価表 |
| | | 構図や効果を考え、撮影します。 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 撮影した写真をトリミングし、より効果的な表現をします。 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 他の作品を鑑賞します。 | | ○ | | | |
| | ○絵画・彫刻 (彫紙アート) | 彫紙アートの原理を理解します。 | ○ | ○ | ○ | a:彫紙アートの原理やデザインナイフの安全な使用方法を身に付け、素材の特性を生かして効果的に表現しようとしている。 b:完成を想像しながら、下絵、色合いを考え表現しようとし、他の生徒の作品のよさや美しさを味わい理解を深めようとしている。 c:表現の特性を生かして表す創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 | ・アイディアスケッチ ・完成作品 ・ワークシート ・個人評価表 ・定期考査 |
| | | 下絵を描きます。 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | デザインナイフを使用し、色画用紙を色合い、重なり順番を意識し、丁寧に切ります。 | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 他の作品を鑑賞します。 | | ○ | | | |